

# 審議した主な議案

## 平成16年度一般会計歳入歳出決算の認定について

平成17年10月18日から21日までの4日間、決算特別委員会を開催しました。

一般会計の決算額は、当初予算額333億2千67万9千円に2回の補正予算5億7千43万2千円を加え、338億9千111万1千円となりました。

12月1日の本会議では、起立採決の結果、賛成多数により認定し、ほかの特別会計5件についても、すべて認定しました。

### 【反対討論(要旨)】

漢人明子(みどりの風)

会派を代表して討論する。昨年度は大型開発に慎重な議会の予算修正に対し、市長が議会軽視の再議を繰り返した。半年もの暫定予算となった。19億円の赤字債を発行、經常収支比率も稲葉市長就任時より悪化。武蔵小金井駅南口再開発事業は財政検証も反対地権者への対応も不十分で、環境破壊も確実。市施設の温暖化ガス排出量は大幅に増加。市役所業務に係わる労働の適正水準ビジョンも示されていない。よって認定に反対する。

### 【賛成討論(要旨)】

伊藤隆文(自由民主党)

平成16年度は台風や地震が多発した。新潟中越地震では救援、三宅村民島も支援。市政は6か月もの暫定予算で混乱した。街づくりは市長選で市民の審判が決した。が、駅南口再開発や小学校舎の

## 平成17年度一般会計補正予算(第7回)

補正の主な内容としては、

武蔵小金井駅南口再開発事業に伴う第二庁舎北駐車場の改修工事等に要する経費、また再開発事業に伴い、物件の移転に必要な費用に対するの補償金としての歳入、平成18年4月1日から予定をしている燃やさないごみ3分別収集に要する経費です。

### 【反対討論(要旨)】

森戸洋子(日本共産党)

今回の決算に反対する理由は武蔵小金井駅南口再開発事業の大型開発を強行し、市民犠牲と無駄遣いの財政運営に道を開く結果となったこと。第2に、市民生活にかかわる事業は低く抑えられていることです。その結果、近隣市との間で行政サービスに開きが出ていることです。最大の理由は、市長が市議会と市民との約束を破り、再開発予算の凍結を解除したこと。市長が市議会と市民の信頼を破った道義的責任は重大です。

### 【賛成討論(要旨)】

和田茂雄(公明党)

3年ぶりに決算が認定されることは、画期的である。財政指標をみると、經常収支比率が92・8%で、平成13年度以来4年連続90%台を維持してきたことから、第2次行革大綱の目標値の80%台後半に迫ってきた。人件費比率が27・5%と3年連続20%台を成し上げたことなど評価できる。積立金3億8千万円の内、再開発基金に1億円とし、将来に向けた備えをしたことなど評価できる。よって本決算の認定に賛成する。

の不燃ごみ3分別収集を円滑に実施するための予算、都道整備の補助金などが責任をもつて計上されている。

### 【反対討論(要旨)】

水上洋志(日本共産党)

反対の理由の1つは、不燃ごみ3分別収集の予算について、3分別そのものに反対ではないが、市民を無視し組合意もないままの条例提案は強権的であり、資源化するプラスチックを有料とするなど市民に負担を強いるものだからである。2つ目に、武蔵小金井駅南口再開発に伴う予算で、開発ありきの強引な進め方が行われ、この大型開発は市民生活に犠牲を負わせるものだからである。以上をもつて本補正予算に反対する。

### 【賛成討論(要旨)】

紀由紀子(公明党)

まず初めに、都道134号線の整備のために、みちづくり・まちづくりパートナー事業委託金が、予算化されたこと。交通安全対策上も、非常に重要な施策である。次に武蔵小金井駅南口再開発事業に伴う物件移転等補償金は、再開発を進めるものである。更には、生活保護者の増加に対応して、生活保護扶助に要する経費がある。この予算案は武蔵小金井駅南口再開発事業を前進させ市民の生活を守る予算なので、賛成である。

### 【賛成討論(要旨)】

露口哲治(自由民主党)

12月9日南口再開発で重要な権利変換計画が認可公告され、これに伴う物件移転等の補償費、昭和38年開館以来、市民の文化芸術の活動拠点であった公会堂の閉館にあたり「ありがとう公会堂」イベント実行委員会への補助金、扶助費の充実にして生活保護費・児童手当・居宅介護支援費の増額、平成18年4月から

をすることができるようになりました。

### 【賛成討論(要旨)】

高木真人(自由民主党)

本条例は、平成17年第3回定例会に提案され、12月1日の本会議では市長から委員会等での指摘を踏まえ、条例を訂正する案が提案され承認された後、全員賛成により原案のとおり可決しました。

### 【賛成討論(要旨)】

渡辺大三(みどりの風)

賛成の理由は、市長原案に対して、私も3会派から訂正を申し入れた所、その大部分が訂正されたことである。訂正により、選定委員会の設置、利用者協議会の設置、市長や市議会議員の配偶者や親族の指定管理者からの排除、指定管理者の情報公開などについて盛り込むことができた。なお、選定委員会に公募委員が入らないこと、選定の公募原則が明記できなかったこと等は、今後の課題であると申し上げておく。

### 【反対討論(要旨)】

板倉真也(日本共産党)

指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例

### 【反対討論(要旨)】

野見山修吉(みどりの風)

指定管理者制度の活用や当該施設への導入自体には賛成。しかし、福祉会館、清里少年自然の家、障害者センター、高齢者在宅サービスセンターの所管は厚生文教委員会であり、多摩20市も分割条例提案している。小金井市は総務企画委員会へ一括条例提案したので、福祉や教育の観点から運営や利用者の声を審査できなかったことは遺憾。しかも与党が多数で委員外議員発言を封じたのは前例の

## 公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例

地方自治法の改正に伴い、従来、委託先が公共的団体等に限定されていた公の施設の管理運営について、株式会社などの民間事業者も管理運営

ない暴挙であり、反対する。

### 【賛成討論(要旨)】

高木真人(自由民主党)

本条例は主に「管理者の名称変更」と「用語の整理」の変更であり、総務企画委員会での審査で十分に議論が果たされるものであります。また、「委員外議員の発言を封じて、強制的に委員会審査を終了しようとしたことは納得できない」と野党は指摘したが、委員外議員発言は本来、委員会からの出席要請のもと出席出来るのだから、採決したことは議会制民主主義に従った当然の措置である。

### 【反対討論(要旨)】

宮下 誠(公明党)

小金井市が利用している二ツ塚処分場は、すでに40%が埋め立てられ、平成25年には満杯になる見込み。ごみ減量への取組は我が市にとつて、もはや避けることのできない緊急課題のひとつ。今回の条例改正は、金属類の廃棄手数の無料化など市民の利便性を向上させるために必要な内容であると評価する。また平成18年4月からの不燃ごみ3分別収集で、埋立ごみは4割以下へ減少すると期待される。よって賛成する。

### 【賛成討論(要旨)】

中根三枝(自由民主党)

市道第760号線は武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業により整備される道路である。地元権利者の資産は1月28日の権利変換期日をもって新たな建物の床等に交換され、当該号線を含む区画道路も小金井市の名義になる。道路の整備を行うとともに建築工事が着工され中央線高架化にあわせて平成20年度には完成する運びである。この事業は停滞している小金井市の気運を一挙に高める効果があると考え賛成する。

### 【反対討論(要旨)】

関根優司(日本共産党)

日本共産党は不燃ごみの3分別収集には賛成する。しかし今回は8月に戸別収集と有料化が開始されたばかりで、新たな収集方法変更には市民の混乱を招く。また、審議会

に3分別収集を諮問して審議中であり、労使合意もしていない状況での議案提案は問題である。8月までの説明会では「分別して資源にすれば無料」と説明してきたのに、今回の提案は3分別しても有料ごみ袋を使うことになってくるのも問題だ。よって反対。

## 市道路線の認定について

市道第760号線は武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業により整備される道路である。地元権利者の資産は1月28日の権利変換期日をもって新たな建物の床等に交換され、当該号線を含む区画道路も小金井市の名義になる。道路の整備を行うとともに建築工事が着工され中央線高架化にあわせて平成20年度には完成する運びである。この事業は停滞している小金井市の気運を一挙に高める効果があると考え賛成する。